

東南アジアの自然と農業研究会

第 113 回研究例会のご案内

第 113 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学東南アジア研究センターの松田 正彦氏に下記のように報告していただきます。年末のお忙しい折とは存じますが、皆様のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時: 2003 年 12 月 12 日 (金) 午後 4 時 ~ 午後 6 時
会 場: 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め

話題提供者: 松田 正彦 氏 (京都大学東南アジア研究センター)

話 題: 「ミャンマー農業の多様と現在」

要 旨:

コメにこだわる食料自給政策、揺れる作付や流通の自由化路線、総じて低投入な農業技術 といった現在のミャンマー農業・農村をとりまく状況とその変化を、シャン州北部の中国国境地帯でみた乾季稲作を出発点として解きほぐしたい。発表ではイラワジデルタ、セントラルドライゾーン、ヤカイン、シャン高原、チンヒルなどミャンマー各地のさまざまな生態環境下での農業もスライドをまじえて紹介します。

問い合わせ先: 星川圭介 総合地球環境学研究所
Tel. 075-229-6155 [mailto: hoshi@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:hoshi@kais.kyoto-u.ac.jp)
田中耕司 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7307 [mailto: kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp](mailto:kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp)

ホームページ: <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/seana/>